林地開発調書(変更)

赤字：変更後

黒字：変更前

整理番号	9-				
申請者	愛知県名古屋市中区錦二丁目18番19号 中日本高速道路株式会社 東京支社長 荒井 靖博				
開発行為の目的	道路の新設				
開発行為に係る事業又は施設の名称	第二東海自動車道建設事業				
所在場所	御殿場市上小林字塚上353-1 他33筆				
森林計画区名	富士森林計画区				
開発面積	事業区域面積	" ha 19.0981 ha	(参考)中日本高速道路(株)全体面積 (130.3528 ha)		
	事業区域内の森林面積	" ha 2.3761 ha	(52.6797 ha)		
	形質変更の森林面積	" ha 2.3761 ha	(52.6797 ha)		
用途別内訳面積	開発後の用途	面積			百分率
		5条森林	5条森林以外	計	
	本線	0.7103ha	4.5901ha	5.3004ha	28%
		1.4562ha	10.4851ha	11.9413ha	63%
	側道	0.3380ha	3.8451ha	4.1831ha	22%
		0.2070ha	1.4530ha	1.6600ha	9%
	調整池	0.0761ha	0.4216ha	0.4977ha	3%
		0.0819ha	0.4389ha	0.5208ha	3%
	残置森林	0ha	0ha	0ha	-
		0ha	0ha	0ha	-
	造成森林	0.5673ha	3.3013ha	3.8686ha	20%
		0.6310ha	4.3450ha	4.9760ha	26%
	造成緑地	0.5018ha	3.5065ha	4.0083ha	21%
0ha		0ha	0ha	-	
造成地	0ha	0.2804ha	0.2804ha	1%	
	0ha	0ha	0ha	-	
管理用通路	0.1826ha	0.7770ha	0.95961ha	5%	
	0.0800ha	0.2840ha	0.3640ha	2%	
側道法面	" ha	" ha	" ha	"	
	2.3761ha	16.7220ha	19.0981ha	100%	
工事計画期間	着工 平成25年10月18日から 完成 令和9年3月31日				
所要経費	用地費				
	工事費				
	本工事費				
	防災工事費				
	計				
森地況	地質	土質	傾斜	標高	

林 の 現 況		玄武岩質 (愛鷹火山砕層物)	宝永山スコリア	0.6~0.8度 (平均0.7度)	489~538m
	林 況	樹種	林 齢	生育状況	降 水 量
		スギ・ヒノキ他	20~50年	中	2,964mm
生息動物 風致その他					
周辺地域の 施設の状況	申請の区域は、富士山南東山麓に位置する御殿場扇状地と呼ばれる緩斜面が広がる地域である。周辺には、田畑に囲まれて宅地や森林が点在しており、事業区域の東側には東名高速道路が南北に走っている。調整池放流先は事業区域を南北に分断している二級河川竜良川、普通河川黄瀬川、六郎川、宮川、星台川、岩の沢川、立沢川で、東方に流下した後、二級河川黄瀬川及び鮎沢川へ合流する。				
水源かん養機能に直接 依存する水需要の状況	当該開発区域に直接水源を依存する地域はない。				
開発行為が周辺地域の 環境へ及ぼす影響	高架下および法面に造成緑地の設置を実施することで、開発行為が周辺環境へ及ぼす影響の軽減を図る。				
特定林分指定状況等	なし				
他の法令等との関連	別紙「他法令等の処理状況」のとおり				
林地開発に対する 関係者の意見	御殿場市長、各区長、各区第二東名対策協議会とで設計協議に関する確認書を締結済 上小林区(平成23年3月16日付け)、塚原区(平成23年3月15日付け) 茶萐沢下区(平成22年11月26日付け)、柴怒田区(平成23年5月11日付け) 小山町一色区(平成22年12月1日付け) 御殿場市長：照会中 小山町長：照会中				
土地所有者の同意状況	全て買収済み				
そ の 他	<p>本件は平成25年10月18日森保第402号により許可を受けた、中日本高速道路(株)による林地開発(道路の新設)の変更申請である。</p> <p>1 経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ <p>・ 本申請では調整池の基数及び位置が変更され、諮問の取扱い基準第1(2)ウに該当するため、個別諮問となった。</p> <p>2 変更理由</p> <p>側道の幅員の変更(5.0m⇒7.5m、9.0m、9.75m)により、本線の盛土面積や形状、舗装面積が変更され、各調整池の流域に変更が生じた。この流域の変更に対応するため、調整池の位置、容量、オリフィスの形状を変更するとともに、調整池1基を廃止し、近接する調整池に統合した。</p> <p>3 主な変更内容</p> <p>防災計画の変更(調整池の基数及び位置の変更)</p> <p>4 立地</p> <p>特に問題ない。</p> <p>5 防災計画 必要容量を満たす調整池、沈砂池を設置する。</p> <p>6 環境の保全</p> <p>開発目的が「道路の設置」であるため、森林率の基準はない。橋梁区間である本区域で</p>				

	は、側道法面に造成緑地を配置する。
調査者職氏名	森林保全課 主査 五十嵐 香介
調査年月日	令和7年5月23日